

市政レポート 日本共産党一宮市議団の活動をお知らせします。 2025年1月 No. 928

ひこさか和子 JCP一宮HP 発行：日本共産党一宮市委員会  
わたなべさとし 100% 100% TEL45-5424 Fax45-5347  
一宮市八幡 2-13-30

シヤツトル

【発行】日本共産党一宮市委員会 JCP一宮

## 2025年 明けましておめでとうございます。 本年もよろしくお祈りします。

昨年みなさまのご支援で自民・公明与党を過半数割れに追い込むことができました。この愛知10区では、市民と立憲野党の共闘で藤原のりまさ氏を当選させることができました。しかし、日本共産党の議席は10議席から8議席に後退するという悔しい結果になりました。

国民民主党や日本維新の会が実質協力する形で自民・公明政権が継続し、能登震災の対策や国民の暮らしそっちのけで、大軍拡に突き進み、2027年には増税も予定されています。

大軍拡ストップ、企業・団体献金全面禁止、憲法9条を守って平和外交などを求めています。

賃金が上がらず、物価高騰の中、一宮市では、昨年水道料金・下水道使用料の値上げ、保育園給食費の値上げ、保育園の民間移管など、暮らし・子育て支援に逆行する市政が続いています。

市民のみなさまと力を合わせて、市民の暮らし向上を求めた予算要望書の内容の実現に向け全力をあげます。



日本共産党市議会議員  
ひこさか和子



日本共産党市議会議員  
わたなべさとし

## 新年あいさつ

### 参院選愛知選挙区予定候補 すやま初美

総選挙でのご支援、あたたかい励ましに心から感謝申し上げます。

去年はしんぶん赤旗の裏金告発と国民の怒りがついに、国会の風景を変えました。強引な改憲発議や悪法の強行を許さない国会を皆さんと誕生させたことが、私にとってかつてない確信となっています。だからこそ今度は与野党逆転を参議院でも実現させ、企業団体献金の禁止や選択的夫婦別姓を勝取りたいのです。

井上哲士さんはじめ、比例5議席絶対確保に全力を挙げます。定数4のうち、改憲勢力が4分の3を占める愛知選挙区から、憲法守り生かす日本共産党の議席を獲りにいきます。男女の賃金格差が大きい愛知からジェンダー不平等の壁を打ち破る決意です。



### 参議院議員 井上哲士

ご支援ありがとうございます。

日本被団協のノーベル平和賞受賞の感動の中で迎えた参院選の年。被爆80年でもあります。被爆2世として核兵器廃絶を高々と掲げ、比例代表で5期目をめざします。

総選挙での審判に反省なき自民党。石破首相は「企業献金が政治をゆがめたことはない」

「企業団体献金禁止は憲法違反の疑い」とまで答弁しました。日本共産党の躍進でお金で動く政治を終わりにしましょう。初当選以来24年間、政治改革の特別委員会に所属してきた私はその先頭に立ちます。

去年は参院で質問回数・時間ともトップで、「三ツ星議員」の表彰を受けました。さらに政治を前に進め「憲法と命輝く日本」へ力を尽くします。よろしくお祈りします。

## 衆議院議員 もとむら伸子

2025年、被爆80年の年。

被爆2世として核兵器、戦争、貧困をなくすことは、原点の一つです。

被爆者の皆様が「自分が生きているうちに」と切実に訴えている核兵器禁止条約の批准にむけて大きく盛り上げていきましょう。

総選挙の結果、与党過半数割れに追い込み、平和憲法を壊す改憲勢力3分の2未満で、改憲国会発議も現時点では不可能になりました。

また、石破総理の憲法9条2項削除、国防軍創設、核共有などの暴走に歯止めをかけることもできました。日本共産党・「しんぶん赤旗」の自民党裏金スクープが貢献でき、本当によかったです。

参院選でも与野党逆転！

比例で井上哲士議員はじめ日本共産党5議席、愛知選挙区ですやま初美さんの議席を勝ち取るためにお力をお貸しください。

皆様のご支援で勝ちとった重い議席。人権保障のとりでとしての役割を果たす決意です。

## 衆議院議員・弁護士 藤原のりまさ

「市民と野党の共闘」をやり遂げた先には、小選挙区愛知10区の当選がありました。衆議院議員の藤原のりまさ（立憲民主党）です。2024年10月27日の総選挙で、日本共産党さん、社会民主党さんとスクラムを組んで、大激戦を制したことは全国的にも注目されました。

私の所属は法務委員会と憲法審査会。選挙の前に結んだ政策協定の真価が問われる「場」が与えられました。



平和を守る、暮らしを守る、地域社会を守るという、「言わずもがな」のことが当たり前を守る社会を、みなさまと共につくってまいります。

## 松井由美子津島市議の議員辞職について 2024年12月20日

本日、日本共産党愛知県委員会と尾張南地区委員会は、津島市役所で記者会見を行い、「松井由美子津島市議の議員辞職について」の声明を発表しました。

1 松井氏は、13日夜、友人と飲食し、自宅への帰路の途中、酩酊状態で転倒し、意識を失っているところを住民に発見され、津島市民病院に救急搬送されました。

そこで、松井氏は研修医や看護師、救急隊員に対し、胸や腹を蹴るなどの暴力をふるい、看護師に全治約1週間のけがを負わせました。

ご迷惑をかけた研修医、看護師及び救急隊員の方々に心からお詫びとお見舞いを申し上げます。関係者のみなさまにも、お詫びいたします。

2 松井氏の暴力行為は、住民の健康と福祉、安心・安全をまもることを任務とする党議員として、あってはならないものです。

松井氏は、暴力行為について深く反省し、謝罪するとともに、20日、議員を辞職することを表明しました。

党愛知県委員会と尾張南地区委員会は、松井氏の暴力行為は許されるものではなく、議員を辞職することは当然のことと、辞職を承認しました。

3 報道をうけ県民のみなさまには、日本共産党の議員が、信じがたい行動をとったことに対する憤りと不信、不安を与えるものとなりました。県民のみなさまにも日本共産党愛知県委員会として心からお詫びするものです。

市民のみなさんの期待を受け、貴重な議席を得ながらも、このような不祥事で任期途中で議席を失うことになったことは、慚愧に堪えません。

日本共産党は、このような事態を二度と引き起こさないよう、深く反省し、県民のみなさんの信頼を回復するための努力をつくっていきます。市民の暮らしと命を守る仕事に懸命にとりくむことをお約束し全力をあげる決意です。

※読者のみなさまへ 年末号と新年号は合併号です。シャトルも次週はお休みさせていただきます